



<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

**新年あけましておめでとうございます。**

園長 秋保めぐみ

保護者の皆様には、お揃いで穏やかな新年をお迎えのことと存じます。今年の干支は“寅”。寅年には「厳しい冬を超えて芽吹いたものが成長し、これから物事が動き出す年」という意味があるそうです。長引くコロナ禍に新たな希望の芽吹きがあることを期待せずにはられません。期待するといえば、昨年からの子どものための政策として「子ども省」「子ども家庭省」の設置が噂されています。文部科学省、厚生労働省、内閣府が一緒になって今の子どもたちの現実を見据えて、環境を整えて欲しいと望んでいます。そして、この案が平成の時代に発案された子どものための政策の様に、立ち消えにならないで必ず実現することを切に願います。今年も職員一同よろしくお願いたします。

**❁1月のテーマと内容**

	テーマ	内 容
0才児	レッツダンス♪	保育者のまねをして手足を動かしたり体を動かしたりしてダンスを楽しむ。
1才児	乾布まさつ	タオルをもって体をゴシゴシ。乾布まさつを覚えて丈夫な体づくりをする。
2才児	話を聞こう	人の話を聞く時はお喋りを止め、相手の目を見て静かに聞く。集中して聞く習慣をつける。
3才児	お正月あそび	お正月ならではのあそび、こま回し、凧揚げ、福笑いなどを通してお正月の雰囲気を楽しむ。
4才児	ひらがなを 読もう	かるたやしりとりなど言葉あそびを通して、ひらがなに興味を持ち、声に出して読めるようになる。
5才児	子どもランド	海の世界で冒険。ゲームやミッションを楽しみ友達との思い出をたくさん作る。

**❁1月のプラン**

＜お正月あそび日程＞

17日(月) 弁当日  
29日(土) ゆり組子どもランド

＜園庭開放 中止＞



ゆり組 1月17日(月)  
ばら組 1月18日(火)  
すみれ組 1月19日(水)  
さくら組 1月20日(木)  
もも組 1月21日(金)

～個人懇談について～

主任保育士 安食美保

今年度もあと3ヵ月となりました。1月下旬から希望する保護者の方に個別面接を行います。新型コロナウイルス感染予防のため保育室への立ち入りをやめているため、お子さんの日々の様子を充分にお伝えできているか心配しています。今年度も個別面接でお話することで保護者の方とのつながりを深め、またご家庭での様子も聞かせていただきたいと思いますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。

人と人のつながりといえば、堺市が行っている“こんにちは赤ちゃん”事業に当園も参加しています。生後4ヵ月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞いて子育て支援を行うために実施しています。コロナ禍では訪問を断る方が多いと思っていましたが、逆にコロナ禍で誰とも会わない、話さない状況が長くなったためか希望する方が多いことに驚きました。訪問先で、話ができて楽しかった、元気が出たと言われたこともあり話すことの大切さを感じました。保護者の皆様いっぱい話しましょう!!  
(個別面接の詳細は後日お知らせします)

保育者の声

栄養士 林 歩美

お正月にお雑煮を食べるのは定番ですが何故お雑煮を食べるようになったのでしょうか。色々な説がありますが、昔は温かいものを食べお腹を温めることで五臓六腑を健康に保ち病気にかからないという考え方がありました。臓器の「臓」が「雑」に転じて「雑煮」になり、神様の魂が宿るといわれている縁起物の餅を加えた温かい汁物をお正月に食べることで1年の無病息災を願ったといわれています。

たんぼぼ組担任 藪 真梨子

お正月といえば！食いしん坊の私は1番にお餅が思い浮かびます。小さい頃父の田舎で毎年餅つきをするのが恒例行事でした。重たい杵を父と一緒に持ち「よいしょー！」のかけ声で餅をつく、今でもよく思い出す光景です。またつきたてのお餅は本当に柔らかくておいしく、いつも食べ過ぎてしまうくらいでした。大人になった今、貴重な体験だったなと思うとともに、保育にも“本物に触れる”という機会を取り入れていけたらなと思います。



栄養士 木下つくみ

私は最近とても驚いたことがあります。もち米とうるち米を合わせて作る和菓子におはぎがありますが、米を半分潰す「半殺し」という工程があります。そして米を全部潰すことを「皆殺し」というそうです。半殺しは知っていましたが、まさか…という気持ちです。新年早々、物騒な話題ですが、知らなかった私にはインパクトが強かったので一生忘れないと思います。

＜編集後記＞

年長児ゆり組に園生活最後の楽しい思い出をと今年29日に「ゆり組子どもランド」という行事を行います。以前は「ゆり組親子の日」として親子で楽しい一日をとという企画でしたが、コロナ禍で昨年からの子どもたちだけの参加になりました。テーマに沿って園内を飾り付け、職員も衣装をつけて雰囲気を盛り上げます。ゲームも個人で得点を競うものやグループで協力して宝物をゲットするものなど盛りだくさんです。コロナ禍で制限があり行事が減ったり形が変わったりすることは仕方ありませんが気持ちは変わらず、全職員で今準備の真っ最中です。

(小田嶋)